



助けあい 支えあいで 縁結び

あいあいねっと通信

1月

新年、あけましておめでとうございます。本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

2019年5月31日に、食品ロス削減推進法案が公布され、10月30日に施行されました。これを受けて、全国的に食品ロス削減の取り組みが広がっています。あいあいねっとも、食品ロス削減活動に積極的に取り組んで参りました。10月13日(日)、14日(月)には、毎年恒例になっている、広島文教大学の大学祭で1年生の学生と広島市環境局と一緒にフードドライブを行いました。学生が一生懸命呼びかけを行い、2日間で、52.9Kgもの食品が集まりました。



また、10月30日(水)には、広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会と広島市が主催する、「スマイル！ひろしま広場」での環境イベントがエールエールの地下広場にて行われました。このイベントで、フードドライブを環境局と共同で行いました。フードドライブ以外にも、食品ロスに関するクイズやすごろく、かるた、環境に配慮したワークショップやグッズの販売などもあり、大勢の人で賑わいました。



その他、可部まちなめぐり、あいあいねっとクリスマス会、でも食品ロス削減すごろくやかるた、人形劇などを行いました。クリスマス会の昼食は、あいあいねっとに届いた食品を使ったランチを食べてもらい、食品ロス削減について考えを深めてもらいました。12月21日には、セブンスター・アベンチスト広島教会のクリスマス会にお招きいただき、フードバンク人形劇とフードドライブを行いました。皆さん関心をもって見て

いただき、嬉しく思いました。

一つ一つは小さな活動で

はありますが、より多くの方が食品ロス削減活動に取り組み、食品ロスがなくなるよう、また、子どもたちに良い環境が残せるように活動していきたいと思っております。今年も、つながりを大切に、「食」を通して、地域が元気になる活動に尽力いたします。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



【今後のスケジュール】

◆年末年始休業

12月25日(水)～1月8日(水)

◆2周年記念イベント

2月22日(土) 11:00～14:30

◆食品ロス削減シンポジウム in 広島

3月7日(土)

★日々の活動は、facebook で公開中

食は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！



フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなった食品（食品ロス）を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21
 ■TEL：082-819-3023
 ■FAX：082-815-6666
 ■Email：aiainet@nagominosato.jp
 ■web：http://www.aiainet.org/



社会福祉法人 正仁会



年頭によせて

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

明けましておめでとうございます。旧年と同様に、本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年11月に、あいあいねっとが活動をスタートさせて12年経過いたしました。当初は、食品ロスへの人々の関心を無理やりこじ開けるような活動方法を展開していましたが、5～6年前頃より、食品ロス削減への社会の関心が加速度的に非常に高くなっていると感じていました。昨年5月、食品ロス削減推進法が成立、10月施行されました。食品ロス削減に取り組む者にとって記念すべき年になりました。そこで、この法律の概略前文をご紹介します。

「食品ロス削減は、世界には、栄養不足の状態にある人が多数存在する中で、とりわけ、大量の食料を輸入に依存している我が国として、真摯に取り組むべき課題である。食品ロスを削減していくために基本的な視点として①国民各層がそれぞれの立場において主体的にこの課題を取り組み、社会全体として対応していくよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくこと。②まだ、食べることができる食品については、廃棄することなくできるだけ食品として活用するようにしていくことが大切である」そして「国民が広く連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進する必要がある」と括られています。しかし、これは法律であり、どのように活用し実践していくかは、私たち皆が考え行動に移していかなければなりません。その中で、個人として組織としてどう関わるのか、一人一人に問われています。

あいあいねっとは、今までと同様に、フードバンク活動を基幹事業として、食品ロス削減活動を展開し、「誰もが尊厳を持って、その人らしく、生きていて良かった、生きていて楽しい、と言える地域社会をつくる」をモットーに、地域社会の多くの主体と手を携えその実現を目指し、今年も精力的に活動を展開してまいります。

.....

新年のご挨拶

社会福祉法人 正仁会 業務執行理事 松林克典

元号「令和」、初めての正月を迎えました。皆様方におかれましては、気持ち新たに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年に続き何かと自然の猛威に日本列島が脅かされることが多かったように思います。今年こそは、平穏無事な一年が過ごせることを祈念いたします。

“あいあいねっと”が社会福祉法人の傘下に加わってからもうすぐ丸2年が経ちます。NPOでの活動から数えて足かけ12年の実績を積んできました。これまで、『もったいない食材』の企業とニーズのあるパートナー団体との橋渡し役を担いながら、災害時には生活支援物資として被災地に届けることも行ってきました。

私事で恐縮ですが、現在、広島県知事と社会福祉事業所の種別団体（老人福祉、障害者福祉、児童福祉、保育等）との協約の下で『災害時福祉支援体制整備事業』に取り組んでいます。福祉事業所間のネットワークによる災害時の自助から互助への体制づくりです。この活動は、DMAT（災害時医療支援チーム）と同様に DWAT（災害時福祉支援チーム）の体制づくりに及ぶことが見込まれています。急場の関係構築は困難なため、平常時から県下の福祉事業所間で如何に強固な関係が結べるかにかかってくる。自然災害が大規模で広範囲に及ぶ昨今、想定外をできるだけ最小にする努力が普段から求められています。

災害など起こらないことが理想ですが、起きたときに“あいあいねっと”も他の社会福祉法人と連携しながら、地域貢献を果たしていけるように今年も一歩ずつ歩みを継続させていきたいと考えています。

この志に共鳴できる方はいつでも可部三丁目の扉を叩いて仲間になってください。

本年もよろしくお願い申し上げます。



パートナーさんのご紹介

【夕焼けぼっぼ食堂】は、中区土橋で毎週木曜日 16:30~18:00 に活動している地域・子ども食堂です。和気あいあいとした雰囲気「夕焼けぼっぼ食堂」を切り盛りされている、お料理を作るのが大好きなハツヤレイコさんにお話を聞きました！！

東京で50年間広告関係の仕事をしてきましたが、母の介護のため生まれ故郷の広島に戻り、ご縁をいただいて2018年1月より「夕焼けぼっぼ食堂」をスタートいたしました。料理に没頭している時間が、自分の気分転換となり、誰かに美味しいと言ってもらえるのがうれしいのです。ただただ、それだけの理由で、夕焼けぼっぼ食堂で料理を作っています。

「夕焼けぼっぼ食堂」の特徴は食材や調味料など、口に入れるもの全てを、可能な限りオーガニックで化学調味料を使用しないもので調理している事でしょう。食堂に来た子どもたちが大人になっても忘れられない味になるといいなと思って作っています。スタートよりあいあいねっとさんをはじめ、有機野菜を提供して下さる農家さんなど支援の輪が広がり、皆さまの善意に心から感謝しています。

食事に来た子どもたちには、好き嫌いがあっても無理に食べさせることはしていません。最初の頃、嫌いな食べ物をどうしようと持って来た子に「一生懸命作ったものを残して捨ててしまうのは悲しいな。」というと、子どもたちも悲しい顔をしてくれました。だから私は、「レイコさんが食べるからいいよ。」とあって、その子の前で食べました。その時、これでいいんだって思いました。今では、他のスタッフもそうしていますし、子ども同士で嫌いなものの交換をして食べています。残したり捨てたりしたら申し訳ないという気持ちと残さない工夫が自然とできていると感じられ、嬉しく思います。

常時運営に関わるボランティアスタッフは4~5人います。待機ボランティアだけでも10人。Webサポーターは300人を越えます。みんなで楽しくやっています。特筆すべきは運営資金の調達方法かもしれません。多くの子ども食堂が助成金や補助金に頼らざるを得ない現実ですが、未長く

続けたいので自立を目指している「夕焼けぼっぼ食堂」では、幸い料理好きの私自身「出張レイコ飯」と銘打ち、各所でのパーティ料理などの売り上げを資金とし、更にこれに賛同して下さる皆様方からの寄付金もあり、お陰さまで今日までなんとか賄えております。

まだまだ皆様のご厚意に甘えるところが大きいですが、一歩ずつでも地道に歩いていけたらと願っています。今度とも、ご支援の程よろしくお願いたします。

夕焼けぼっぼ食堂 ハツヤレイコ





今年は、たくさんのさつ
ま芋をいただきました！
とっても好評なスクエア型
のスイートポテトです！！



☆スイートポテト☆

【材料】30個程度

さつま芋 1Kg さとう 70g 生クリーム 50ml
バター 24g 卵黄 1個 黒ごま 適量
艶出し用 卵黄 1個 みりん 小さじ 1 (水でも OK)

【作り方】

- 1、 さつま芋は、皮をむき輪切りにしてひたひたの水で茹でる。
- 2、 竹串がすっと通るようになったら、水を捨てて、火にかけたまま余分な水分を飛ばしながら、マッシャーでつぶす。
- 3、 さつま芋が潰れたら、砂糖、生クリーム、バターを加え、弱火にかけたまま、もったりするまで練り上げる。
- 4、 生地がもったりしてきたら、火からおろし、卵黄を加えて手早く混ぜる。
- 5、 粗熱が取れたら、ラップの上に出し、厚み 3 cm の四角形に形を整え、冷蔵庫で冷やす。
- 6、 冷えたら、包丁で食べやすい大きさにカットし、形を整えながら天板にのせる。
- 7、 艶出し用の卵とみりんを混ぜ、6の上にもぬる。黒ゴマのせる。
- 8、 200度のオーブンで表面にこんがり焼き色が付くまで焼き上げる。出来上がり！



〈コメント〉

❁ 四角に形を整えて焼くので、生地が柔らかくなりすぎないようにするのがコツです！
もう一つもう一つとついつい手が出るおやつです★

私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社◆アラハタ株式会社
- ◆有限会社池田自動車◆株式会社エコーロードフルール◆江崎グリコ株式会社
- ◆株式会社 SKY コーポレーション◆株式会社エムズホーム◆株式会社 M&K
- ◆株式会社 M&C コラボレーション◆おおたけ株式会社◆株式会社沖野建築設計
- ◆有限会社オフィスシン◆京都 Bonappetit◆キューピー株式会社広島支店◆株式会社九食
- ◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社◆有限会社佐藤運送
- ◆有限会社山菜木村◆シチズン時計株式会社◆スターライト工業株式会社
- ◆生活協同組合ひろしま◆田邊農園株式会社◆株式会社多山文具◆チチヤス株式会社
- ◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社◆株式会社トーホーフードサービス
- ◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ◆ひろしま市民の里@安佐
- ◆広島総合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社◆広島駅弁当株式会社◆株式会社フォーリーフ
- ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆マルコメ株式会社◆マックスバリュ西日本株式会社
- ◆株式会社マルバヤシ◆株式会社未癸◆ミック株式会社◆美作大学食品ロス削減サークル
- ◆株式会社ミライト◆有限会社エイコー商事◆山崎製パン株式会社広島工場
- ◆ゆかり屋本舗株式会社◆ワンダフルホーム株式会社

みなさま、いつもありがとうございます！

【編集後記】毎年家族分のお米を育てています。が、今年は半分以上が虫の被害に…。これも地球温暖化の気候変動と関係しているそう。食べ物は、自然の恵みであると改めて実感し、より感謝しながら手を合わせています。「お米の一粒一粒に神様が宿っている」と、祖父のことばを思い出します (M)